

# ぶらざ村上

発行日/2013年8月1日 企画編集/広報委員会

● 眠りについて	副病院長 加藤 隆弘	2
● 「病院機能評価Ver.6の認定」	事務部長 白井 認	2
● 口腔癌	歯科・口腔外科教授 村松 泰徳	3
● 看護の心をみんなの心に	看護部 北野 康弘	4
● 歯と口の健康週間	朝日大学附属病院 歯周病科講師 北後 光信	4
● 「除菌効果」って本当?	感染管理認定看護師 尾崎 明人	4
● 新任紹介		4
● 消防訓練の実施	管理課 古泉 尚	5
● 「ピロリ菌専門外来」開設のお知らせ	消化器内科教授 加藤 隆弘	5
● 歯科・口腔外科リニューアルオープン	管理課 加藤 祐司	6
● 外来化学療法室を開設しました	管理課 加藤 祐司	6
● 消化器内科診療室の移転	管理課 加藤 祐司	6
● シリーズ 健診センター便り⑥	医事一課 小林 小恵子	7
● シリーズ 医食同源 NO.13 ~ヘルシーけんこう食~	管理栄養士 高橋 貞子	7
● 診療医ご案内		8

MURAKAMI  
MEMORIAL  
HOSPITAL

## 認定証

Certificate of Accreditation

認定第GB348-3号  
Accreditation Number



日本医療機能評価機構

審査体制区分：3  
(ver.6.0)  
Assessment system division 3

病院名 **朝日大学歯学部附属村上記念病院** 殿  
Hospital Name **Murakami Memorial Hospital**

貴病院が日本医療機能評価機構の定める認定基準を達成していることを証する  
This is to certify that the above hospital has demonstrated satisfactory compliance with the applicable JCQHC accreditation standards.

認定期間：2012年12月16日～2017年12月15日  
December 16, 2012-December 15, 2017

発行日：2013年2月1日  
Issue Date：February 1, 2013

 公益財団法人 日本医療機能評価機構  
Japan Council for Quality Health Care

代表理事 理事長 井原 哲夫  
Chairman of the Board Tetsuo Ihara



# 眠りについて

副病院長 加藤 隆弘



「春眠暁を覚えず」は遠い過去の言葉となってしまった方も少なからずおられることと思います。「昔は良く眠れたのに、最近は眠れない、熟睡感もない」という患者さんの声をよく耳にします。

日本人の睡眠時間は世界で群を抜いて短く、一方、最も長く睡眠時間をとる国民はフランス人であり、お国柄が睡眠時間にも表れているようです。短い睡眠時間であっても昼間の仕事や勉強に効率的に取り組むことができると良いのですが、睡眠不足や不眠となると現実的にはいろんな問題が生じてきます。ここでは睡眠については睡眠不足と不眠の二つの点から考えてみることにしましょう。

睡眠不足は一般的に若い人に多く、加齢によりその頻度は低下します。大学受験時代には、眠気に抗して1日4時間の睡眠で受験勉強を乗り切れば合格、5時間の睡眠をとってしまえば合格叶わず、という意味で「4当5落」という言葉が流行しました。最近の大学生に尋ねてみましたところ、この言葉は現代でも生きているようであります。

一方、高齢になるにつれ不眠が増加してきます。寝つきにくく(入眠困難)、夜中に目が醒め(中途覚醒)、さらには鶏よりも早く目が醒めてしまう(早朝覚醒)などの不眠症状のある方が増加してきています。現代の日本では5人に1人が不眠症状を訴えているといわれています。

この様な観点から、睡眠はどの年齢であろうとも話題性のあるテーマとして社会や人々の間で取り上げられています。某大学では「睡眠文化論」という講義までもあり、学生の人気を集めているようです。単に昼間の効率的活動を目的として物理学的、生物学的に睡眠を解析するだけではなく、社会文化の一つとして睡眠そのものの意義を考える研究が盛んになされています。そもそも睡眠は動物が生きるために必要なひとつの生理現象であります。最近の研究から、糖尿病、肥満や高血圧などの生活習慣病やうつなどと深く関連することが明らかになってきました。生活習慣病の予防として従来から運動、栄養、休養、禁煙や適正な飲酒が求められていますが、昨今ではこれに加え、眠りや睡眠習慣が生活習慣病と密接に関連していることがわかってきました。例えば、

「4当5落」にあるように睡眠時間を4時間に絞り受験勉強をすると、6日目ぐらいから血糖値の上昇がみられます。睡眠7～8時間の人に比べ、5時間未満の人は糖尿病を発症する危険性が2.5倍に高まります。これはグレリンとレプチンというホルモンのバランスが崩れるためと考えられています。高血圧に関しても同様のことが指摘されており、睡眠時間が5時間未満の人は7～8時間の睡眠時間の人に比べ、高血圧を発症する危険性が1.5倍に上昇します。

睡眠不足や不眠になると人は医療機関を受診され、睡眠薬を求められますし、医師も患者さんの生活習慣を理解せずに安易に睡眠薬を投与してしまう傾向にあります。在りし日の狐狸庵先生こと、作家の遠藤周作氏が病に伏し入院治療を余儀なくされた時、「不眠を看護師に訴えると、すぐ睡眠薬を持ってきた。私が何故眠れないのか、どうすれば眠れるようになるのか、それを考えて対応するのが医療人の役目でしょう。単に睡眠薬を持ってくるぐらいなら、医療人でなくてもできる」と厳しく指摘されていました。

不眠症状のある方に対してMonk(モンク)が睡眠衛生という観点から、次の改善すべき生活習慣を提唱しています。

- ①就床時刻や睡眠時間に固執しないようにしましょう
- ②起床直後に日光にあたりましょう
- ③適度の運動を午後から夕方に行いましょう
- ④適切な睡眠環境を維持しましょう
- ⑤寝室は睡眠の場所以外には利用しないようにしましょう
- ⑥カフェイン、アルコールやニコチンなど睡眠の妨げとなる物質の摂取は避けましょう
- ⑦昼間の労働と関係のない精神身体活動を行い、リラクセスに努めましょう

是非、皆様方も御自分のライフスタイルや考え方と比較していただき、なぜ自分が眠れないのか、これらの要因がご自分の不眠の原因となっていないのかどうか、一度御検討ください。もし、ひとつでも要因が見つければ、是非ライフスタイルの改善にチャレンジしてみてください。睡眠薬を必要としない、自分に適した「より良い睡眠」を発見できるかもしれません。

## 「病院機能評価Ver.6の認定」

事務部長 白井 認

2012年11月15日から17日にかけて、病院機能評価Ver.6を受審し、補充的審査を受審することなく、2013年2月1日付けで「認定」に至りました。

認定番号「認定第GB348-3号」、認定期間は、Ver.5から継続して「2012年12月16日～2017年12月15日」の5年間です。

受審日までの準備が短期間であったにもかかわらず認定に至った大きな要因は、職員の集中力と団結力であり、唯々頭が下がる思いで病院の底力を強く感じました。

また、受審に際しては、関係各位に多くのアドバイスを賜り、

この紙上をお借りして厚く御礼申し上げる次第です。

今回、300項目以上の審査を受けましたが、全ての項目が100点満点ではありません。これに満足することなく更なる向上心を持ち、地域医療に貢献していく所存ですので、今後ともよろしくお願いたします。



# 口腔癌

歯科・口腔外科教授 村松 泰徳



わが国では高齢化が進むとともに、口腔癌に罹患する患者さんの数は増加しており、2005年の口腔癌罹患患者さんは6,900人、2015年には7,800人と予測されており、現在年間7,000人～8,000人の方が口腔癌を発症していると推定されています。これは、からだ全体のがんの中で1～2%を占めるといわれております。わが国では、口腔癌の最も発症しやすい部位は舌で口腔癌の中の約60%を占めます。その他は、頬の粘膜、口底粘膜(舌と下顎の間)、上顎の歯肉、下顎の歯肉、硬口蓋(上顎の歯の内側の粘膜)の順に多いと報告されております。

口腔内のほとんどは、歯以外は表面が扁平上皮といわれる粘膜で、病理組織学的に口腔癌の80～90%近くが扁平上皮癌というタイプです。

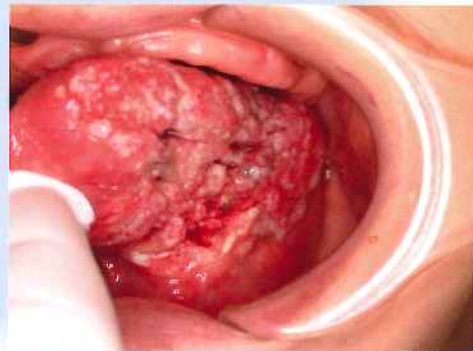
口腔癌を発症させる危険因子といわれるものに、喫煙、飲酒、慢性の機械的刺激、食事などの化学的刺激、炎症による口腔粘膜の障害、ウイルス感染、加齢などが挙げられております。とくに喫煙は、口腔癌発症における最大の危険因子といわれており、疫学的にも証明されております。また、飲酒も口腔癌発症の危険因子といわれており、飲酒による発癌リスクには個人差があるといわれておりますが、飲酒と喫煙は口腔癌の発生に相乗的に作用し、発癌リスクをより高めるとの報告があります。

さらに、加齢的な口腔粘膜の変化の中に白板症といわれる、粘膜の角化亢進による白斑状の病変があり、わが国における口腔白板症の癌化率(将来白板症から癌が発生する割合)は平均10%前後と報告されております。そして、口腔癌は他の部位と重複して癌を発症することもあり、とくに上部消化器癌や肺癌が多いとされております。口腔癌患者さんで重複癌が発生する頻度は11.0～16.2%との報告があり、これは口腔、咽頭、食道、胃は同一の発癌環境にあるためとされ、その背景因子にはやは

り過度の喫煙と飲酒、生活・食事習慣などが考えられます。

口腔癌の治療は、手術療法、抗癌剤による化学療法、放射線療法が主となり、進行状態によってそれらを組み合わせて治療を行ないます。癌の進行程度を4段階に分け、第1、第2段階のいわゆる初期癌では切除する手術療法が選択される場合が多く、また第3段階、第4段階の進行癌の場合は、手術、抗癌剤、放射線を組み合わせる治療を選択します。

口腔癌はからだ全体の癌の中でも、治療によって治癒する可能性の高い癌とは決していえません。さらに初期癌と進行癌との間には、治療の効果に大変な差があり、また癌が広範囲におよぶほど、食べる、しゃべる、飲み込む、時には呼吸をするなどといった基本的な機能の低下や障害、喪失などを伴います。それゆえ、日頃から定期的に歯科医院や病院歯科を受診し、口腔ケアの一環として口腔癌の検診を受けていただきたいと思っております。



進行した舌癌:3~4ヶ月前には自覚症状があったそうです。早期の受診をお勧めします。

## 病院の理念

地域の中核病院として、安全で質の高い医療を提供し社会に貢献します。

### 病院の方針

1. 患者さんの人格、権利、プライバシーを尊重し、患者さんの立場に立ったチーム医療を行います。
2. 患者さんのために医学的根拠にもとづいた医療を実践します。
3. 安全・高度・安心な医療を医科及び歯科が連携して行います。
4. 救急医療の充実に努めます。
5. 予防医学の推進により生活習慣病の予防に努めます。
6. 十分なインフォームドコンセントのうえ、医療を実践します。
7. 全人的な医療を行うため、全職員の力を結集します。
8. 地域における医療連携を推進します。
9. 病院内外の医療関係者・従事者などに対して教育・研修の場を提供します。
10. 健全な経営体質の維持をはかります。
11. 全職員が誇りを持って働ける職場づくりに努めます。

### 患者さんの権利

私たちは、当院を受診される皆様が以下の権利を有することを確認し、尊重します。

1. 人としての尊厳をもって医療を受けること。
2. 安全で質の高い医療を受けること。
3. 十分な説明と情報を得たうえで、自らの意思で医療を受けること。
4. プライバシーと個人情報が保護されること。
5. セカンドオピニオンを求めること。
6. 研究や教育への協力を自らの意思で決定すること。

## 看護の心をみんなの心に

看護部 北野 康弘

当院では5月7日から10日までの期間において「看護の日」に伴うイベントを開催しました。

21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を国民のひとりひとりが分かち合うことが必要です。「看護の日」はこうした心を、老若男女を問わず誰もが育むきっかけとなるよう、1990年、当時の厚生省が5月12日のフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ制定しました。また、5月12日を含む週の日曜日から土曜日までが「看護週間」となっています。

今年も期間中は、来院されたみなさん、職員、実習生といった多くの方に参加していただき、体成分測定を含む健康相談や手

洗いのチェックを行いました。体成分測定を毎年楽しみにされている方もいらっしゃいました。手洗いチェックに参加した多くの方は、「普段からきれいに洗っていると思っていたのに汚れが残っているものですね。これからは気をつけて洗います。」と話されていました。看護週間のイベントに参加してくださった方々の、健康維持につながるきっかけになればと思います。

今回協力くださったみなさん、本当にありがとうございました。実行委員においては看護週間を通して貴重な体験ができました。

今後も患者さんや一般来院者に看護週間を通して、看護の魅力を伝え、看護への関心が高まり、理解を深めていただけるようにして、患者さんとのコミュニケーションの輪が広がればと思います。



## 歯と口の健康週間

朝日大学附属病院 歯周病科講師 北後 光信

平成25年6月3日から8日まで「歯と口の健康週間」としてイベントを開催しました。昨年までは「歯の衛生週間」として、歯と口の健康に関する正しい知識を普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図ることを目的として行われていたものが、「歯と口の健康週間」と名前が変わりました。皆様ご存じでしたか？

今年は「歯周病を予防しよう！」をテーマにかかげ、附属病院歯周病科の歯科医師、歯科衛生士を中心とし、附属病院及び村上記念病院において啓発イベントを行いました。歯周病予防のための歯ブラシの使い方や、口臭測定等を行い、また、歯周病をメインとしたさまざまな疑問・相談を受け、お口の健康に対する関心の高さが年々増加していることを、この1週間でも実感いたしました。

「歯を残すにはどうしたらよい?」「口臭があるんじゃないかな?」など、来院された皆様から積極的に声をかけてくださいました。貴重なご意見として、今後の歯科医療への参考とさせていただきます。

この活動を終え、私どもは皆様の希望に添えるよう、患者さんの満足度の高い診療を心がけ、更なる医療の質の向上に努めてまいりたいと思っております。

最後に、皆様のご協力により、今回のイベントが盛況のうちに執り行われたことをスタッフ一同、心から感謝いたします。



## 新任紹介

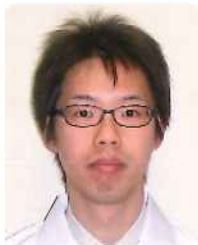


脳神経外科 助教  
**宮居 雅**

(みやい まさみ)

脳神経外科一般を担当させていただきます。よろしく申し上げます。

(2013年4月1日 赴任)



臨床研修医  
**石垣 裕敏**

(いしがき ひろとし)

2年間、色々な診療科でお世話になります。よろしく申し上げます。

(2013年4月1日 赴任)



外科 助教  
**桐野 泉**

(きのの いづみ)

外科疾患を担当させていただきます。よろしく申し上げます。

(2013年6月1日 赴任)

## 「除菌効果」って本当？

感染管理認定看護師 尾崎 明人

最近、台所用洗剤や掃除用品に「除菌」効果をうたう製品が増えてきました。同様の製品で除菌効果のあるものとなないものでは、除菌効果のある製品を選んだほうがなんとなく良いような気がします。また除菌効果のある製品を使うことによって、なんとなく安心感を得ることもできます。しかしこうした宣伝文句や実際の効果ついて疑問を感じる時もあります。今回この除菌効果について検証してみたいと思います。

検証する製品はA社の「除菌もできる」台所用洗剤です。この製品の除菌タイプとそうでないタイプの成分表を見比べてみると、除菌タイプの製品にのみ「エチルアルコール」という消毒剤が含まれています。しかしその配合目的には「粘度調整剤」と書いてあり、殺菌や消毒を主な目的としているわけでは

ないようです。「除菌」という言葉を辞書で調べてみると、「細菌を取り除くこと」とあり、その程度については触れられておらず、ほんの僅かでも細菌を取り除けば除菌できたこととなります。先ほどの洗剤も、消毒剤を配合させることによって、いくらか細菌を取り除く効果が期待されるため、「除菌もできる」とうたっているのだと思います。おそらく他の除菌を売りにしている製品も同様の効果だと考えられ、決して無菌な状態を作り出せるわけではなく、過度な期待はしないほうが良いように思います。むしろ、キレイに洗った物を触る手が汚れては、せっかくの除菌効果が台無しです。除菌効果がある製品を使うことも良いですが、普段からの手洗いをしっかり行うことのほうが大切であると思います。

## 消防訓練の実施

管理課 古泉 尚

当院では、消防計画に基づき年2回の消防訓練を実施しております。2012年度2回目の訓練は、2013年1月19日14時から、震度6強の地震が発生、西館の4階から出火したと想定して、2012年5月の新館建設後初めて消防訓練を行いました。

本訓練には岐阜中消防署員の立会いのもと、職員、患者さん等120名が参加し、防災訓練を実施しました。また、4月に採用となった新入職員を対象として消火器の取り扱いについて実地訓練を行いました。全体訓練が終了後には、岐阜中消防署の方から今回の訓練に対する講評があり、職員は真剣に耳を傾けていました。

消防訓練は、毎回、仮想の出火場所を変え、各職員が初期消火、消防署への通報、患者さんの避難誘導、その後の自衛消防本部への報告等が着実に実施できるようにするため、くり返し訓練を行っております。病院での災害は、一般的な施設とは違い、入院患者さん等避難が直ぐにできない方が多い施設であり、また、災害が発生

した時間帯により消火活動や避難誘導等に携わる職員の数も変動します。

2013年度の1回目は7月17日に実施しましたが、当院では、このような観点から、どのようなケースにおいても患者さん等を迅速、安全、着実に避難ができるよう、各職員が日頃から自分の役割を認識し、消火器や火災報知器の設置場所や避難経路の確認などを心がけるとともに、訓練では昼間、夜間、大規模災害等のケース別に実施し、火災や災害に備えて訓練を行っていきたいと思います。



## 「ピロリ菌専門外来」開設のお知らせ

—ピロリ菌に感染している方すべて除菌療法が保険適用になりました—

消化器内科教授 加藤 隆弘

平成25年2月21日から慢性胃炎に対して胃癌発生の予防を目的として待望のヘリコバクター・ピロリ(以下ピロリ菌)の除菌療法の保険適用が認められております。今までは、胃・十二指腸潰瘍の再発の抑制、胃MALTリンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌内視鏡治療後といった限られた病気の方々だけに保険適用が認められていましたが、今回、ピロリ菌に感染している慢性胃炎の方全員に保険適用が拡大されることになりました。

3,500~4,000万人といわれる日本のピロリ菌感染者に広く治療の門戸が開かれ、国民総除菌時代の幕開けとなりました。胃癌大国である日本から一日でも早く胃癌を予防し、胃癌で

亡くられる方を零にしたいという国民の切なる要望が叶えられたわけです。

ピロリ菌は幼小児期に感染し、ほぼ100%活動性胃炎→萎縮性胃炎と進展し、胃癌を発生することになります。ピロリ菌がいなければ、まず胃癌にはなりません。「高齢だから除菌療法を受けても遅い」ということはありません。若者であればあるほど胃癌の発生の予防効果は高いことは事実ですが、50歳代で70%以上、71歳以上でも50%ぐらいの胃癌の予防効果があるといわれています。

是非ピロリ菌の除菌療法をお受けください。ご希望の方は消化器内科の「ピロリ菌専門外来」までお申し込みください。

## 歯科・口腔外科リニューアルオープン

管理課 加藤 祐司

本年2月に歯科・口腔外科は東館6階へ移転し、規模を拡張してリニューアルオープンとなりました。

診療台をこれまでの5台から8台に増設し、また、悪性腫瘍術後の治療をより効果的に行うために耳鼻科用の診療台も導入しました。

さらに、レントゲン写真はデジタル画像として診療台の脇で、より精度の向上した情報として患者さんに提供させていただくこともできるようになりました。

診療室は大変広くなり、また、各診療室は独立したスペースとして、患者さんのプライバシー保護にも配慮した空間を造りました。本院歯科・口腔外科は、岐阜医療圏に



おける二次医療機関として、開業医の先生方から多くの患者さんを紹介していただいております。今回のリニューアルで地域の医療ニーズにもよりの確にお応えすることができる環境を整えたものであると自負しております。

これを契機に、これまで以上に良質な医療をより快適な空間で提供できるよう職員が一丸となって鋭意努力してまいります。

## 外来化学療法室を開設しました

管理課 加藤 祐司

本館3階に新たに外来化学療法室を設置し、本年4月から専用室での治療を開始しました。治療室にはベッド2台、リクライニングチェア10台を配置しました。

これまで、化学療法は各病棟などで行っておりましたが、化学療法という治療の安全性確保や使用する薬剤の特徴などを考慮し、専用の治療室で、また、専任のスタッフを配置して

行うことが望ましいとされております。岐阜市内の中核病院においても本院を除き全ての病院で治療室を確保して行っており、本院も長年の構想がやっと実ることとなりました。

国が定めた規則(施設基準)によってこのような治療室では「外来化学療法加算」を算定できることとなり、本院でも4月以降、この加算を算定し、患者さんからこれまでより



多くの窓口負担金を頂戴することとなりました。

治療を継続されている患者さん方におかれましては、ご負担が多くなり申し訳ありませんが、治療の安全性を確保するという観点からご理解賜りますようお願い申し上げます。

## 消化器内科診療室の移転

管理課 加藤 祐司

消化器内科の診療室は6月に、本館2階の北から南に移転しました。

現在、病院の各所を改修しておりますが、今回の移転もその一環として行ったもので、従前の消化器内科診療室を内視鏡センターとして拡張・整備するため、消化器内科診療室を南の歯科・口腔外科診療室の跡地へ移転することとしたものです。

新たに設置した診療室は、糖尿病・内分泌内科と共用で、全8室を備えております。管理栄養士による糖尿病等の療養

指導もこの診療室を活用して行う予定としております。このほか診療室の前は中央処置室が移転した跡地を利用した待合を確保し、環境整備を図りました。

工事中は皆様方に大変ご迷惑をおかけし、また、内視鏡センターの工事を今後順次進めてまいりますので、引き続き多大なご迷惑をおかけすることとなりますが、外来診療室の整備、内視鏡治療の精度向上を図るためのものであり、その点について特段のご理解を賜り、ご協力を頂戴したいと存じます。

## 西館へ移転して1年

医事一課 小林 小恵子

当院総合健診センターは2012年5月に西館へ移転し、1年が経ちました。受診者の皆様からは広くなり、快適に受診できるとのお声が多く、大変嬉しく思っております。

今回、2013年5月20日～6月1日の2週間、受診者284名からアンケートにご協力いただき、職員の対応や検査の待ち時間などの調査を実施いたしました。その結果を紹介させていただきます。この期間の受診者は男性61%、女性39%、40歳代～50歳代の方が多く受診いただけました。職員の対応については非常に良い51%、良い45%と良い評価をいただいております。医師面談の時間、内容についても良かったとのお声をいただいております。また、毎年、続けて当センターをご利用になっている方が多いこともわかりました。

このような結果が出たことは大変有り難く、今後も引き続き、皆様安心して健診を受けていただける質の高い健診を行えるよう、スタッフ一同努めてまいります。また、当初から指摘いただいておりますロッカーについても大きなものに交換し、更衣室を増設し対応いたしております。

5月から新オプションとして、メタボリックシンドロームに関連したCT内臓脂肪面積測定検査を行っております。臍部のCT撮影のため短時間で検査ができます。お腹周りが気になられる方にこの検査をお勧めします。

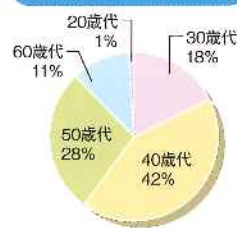
この1年、ご希望の多い内視鏡検査の件数を増やし、乳癌検診もほぼ毎日の設定といたしました。定期検診も月～金の午後に毎日行っております。

今後も、受診者のニーズに合わせた検査を実施していく予定です。どうぞ当センターをご利用いただきますようよろしくお願い申し上げます。

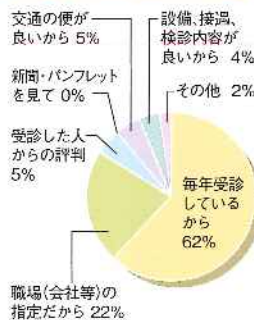
### 1. 性別



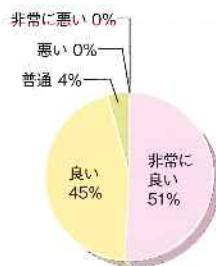
### 2. 年齢



### 3. 当センターを選ばれた理由



### 4. 職員の対応について



## シリーズ医食同源 NO.13 ヘルシーけんこう食

管理栄養士 高橋 貞子

- ① 食物繊維をたっぷりとる!
- ② 塩分を控える。
- ③ 節酒を心がける。
- ④ 糖質、脂肪のとりすぎに注意する!

### 和風ロールキャベツ (あっさりやわらか) (230kcal)

材料 1人分

キャベツの葉	120g(2枚)	[A]調味料	片栗粉	2g
合ひき肉	40g		塩	0.2g
木綿豆腐	40g		しょうが	1g
たまねぎ	20g		みそ	2g
人参	5g	[B]煮汁	だし汁	100g
しいたけ	5g		そばつゆ	10g
卵	10g		みりん	3g
スナップえんどう	7g		片栗粉	3g

作り方

- 1 キャベツを茹でる。
- 2 豆腐は水切りをする。野菜はみじん切り。スナップえんどうは茹でる。
- 3 ビニール袋に材料と[A]を入れ、混ぜる。
- 4 キャベツで包み、[B]を入れ蒸込む。
- 5 煮汁に水とき片栗粉を入れとろみをつけ、盛り付ける。



### ごぼうと水菜のサラダ (繊維たっぷり) (20kcal)

材料 1人分

ごぼう	20g	人参	5g
水菜	15g	青しそ	1g
大根	10g	パプリカ	3g
[A]調味料	ごま油	1g	
	青しそドレッシング	7g	
	すりごま	1g	

作り方

- 1 ごぼうは茹でる。
- 2 野菜は繊維切りにする。
- 3 材料に[A]を入れ、合わせて器に盛る。

### にら卵スープ (疲労回復あり) (30kcal)

材料 1人分

卵	15g	スープの素	8g
にら	10g	こしょう	少々

### 強化米ごはん (おいしさそのままごはん) (160kcal)

材料 1人分

米	50g
強化米	0.2g(ビタミンB配合)



# 診療医ご案内



(2013年8月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金	土
消化器内科	初診	福田	下村 (非常勤)	大洞	非常勤医	加藤(隆)	森本 大島(靖)
	予約診	小島	大洞	小島	加藤(隆)	—	加藤(隆)
	予約診	森本	大島(靖)	—	—	福田	—
循環器内科		瀬川	加藤(周)	瀬川	加藤(周)	大野 (腎臓内科)	担当医
		八巻	大野 (腎臓内科)	八巻	谷 晶 (非常勤)	早川 (非常勤)	—
腎臓内科		大橋	—	大橋	泉	—	大橋
糖尿病・内分泌内科		猿柳 井瀬	武田 瀨	武田 佐々木	猿柳 井瀬	猿柳 井瀬	武田 佐々木
呼吸器内科		中島	栗林	舟口 (非常勤)	栗林	栗林	中島
外科		久米	桐野	久米	中嶋	川部	担当医
		高橋	川部	桐野	—	中嶋	—
乳腺外科	1診	川口	細野	細野	細野	川口 (第2・4週日)	細野 (第1・3・5週日)
	2診	細野	川口	川口	川口	細野	川口 (第2・4週日)
脳神経外科		石澤	郭	山下	石澤	安藤	郭
		山下	宮居	船津	宮居	—	船津
整形外科	初診	日下・河合	青芝・山賀	塚田	後藤(毅)	前田	担当医
	予約診	—	—	前田	河合	大友	—
	予約診	—	今泉	日下	山賀	日下	今泉 (第1・3週日)
	予約診	後藤(毅)	塚田	青芝	塚原	今泉	塚原 (第2週日)
眼科	1診	佐本 (非常勤)	田中 (非常勤)	奥村 (非常勤)	—	奥村 (非常勤)	—
	2診	—	矢田	矢田	矢田	矢田	—
泌尿器科		江原	土屋 (非常勤)	江原	江原	江原	—
婦人科		藤本	(予約制)	(予約制)	藤本	藤本	—
放射線治療科		—	田中(秀) (非常勤)	—	大宝 (非常勤)	—	—
歯科・口腔外科	初診	村松・稲垣 古澤	本橋・江原 玄	中島・稲垣 由井	村松・田村 稲垣	本橋・江原 木方	本橋・村松・江原 樽沼由井

**【ご案内】** ●診療受付時間は、全科8:00~11:30、ただし、初診の方は、11:00で受付終了。(救急・急患の場合は、この限りではありません)  
●年度変わりの時期や学会出張により、診療医が変更することがありますので、予め確認が必要である方は、お電話でお尋ねください。

**【予約診療について】** (一部の診療科を除き、初診の予約診療は行っていません) 予約・予約変更連絡先 予約変更受付時間(曜日)

●内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科	(058)253-8001(代表)	13:00~15:00(月~金曜日)
●糖尿病・内分泌内科	(058)253-8001(代表)	13:00~15:00(月~金曜日)
●外科	(058)253-8001(代表)	13:00~15:00(月~金曜日)
●脳神経外科	(058)253-9921	9:00~16:00(月~金曜日)
●整形外科(再診は予約制です。)	(058)253-5223	13:00~16:00(月~金曜日)
●眼科	(058)253-8001(代表)	13:00~15:00(月~金曜日)
●泌尿器科	(058)253-8001(代表)	13:00~15:00(月~金曜日)
●乳腺外科(初診・再診とも予約をおとりください。)	(058)253-8001(代表)	14:00~16:00(月~金曜日)
●婦人科(初診・再診とも予約をおとりください。)	(058)253-8001(代表)	14:00~16:00(月~金曜日)
●歯科・口腔外科	(058)252-6947	8:30~16:30(月~金曜日) 8:30~12:00(土曜日)

**朝日大学 村上記念病院** [病院機能評価認定病院] [人間ドック・健診機能評価施設]

〒500-8523 岐阜市橋本町3丁目23番地 TEL:058-253-8001(代) FAX:058-253-5165(総合受付)  
ホームページアドレス <http://www.murakami.asahi-u.ac.jp>